

取手アートプロジェクト「半農半芸」 たこ 大空凧プロジェクト

取手アートプロジェクト (TAP) は、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。その活動の一環として、高須で大凧を揚げる大空凧プロジェクトを進めてきました。古い大凧を修復し空に揚げます。

☎ 取手アートプロジェクト実行委員会 (TAP) ☎84-1874 (火・金曜日13:00 ~ 17:00)、文化芸術課 ☎内線1292

● 大地から生まれる凧 大空凧プロジェクト

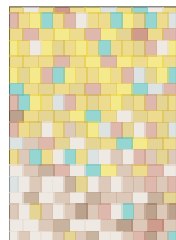
高須公民館に飾られていた大凧の写真をきっかけに、「半農半芸」の取り組みの一環として、平成 23 年から始動しました。大凧を修復し空に揚げるため、高須で採れた植物を素材にしたわら紙作りや絵の具作りなどに挑戦しています。

◆ 現在制作中です！

▼ 高須で採れたわらの提供を受け、大凧の重要部分であるわら紙を、一から制作しています。



▼ 完成予想図。高須の植物から作った顔料で色づけをしたわら紙を、モザイク画のように貼り合わせていきます。

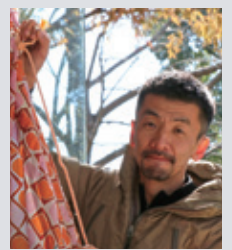


縦：520cm
横：370cm

※ 270 枚以上のわら紙を使います。

高須の空に、大凧を揚げたい。そう思ってから 10 年間、いろいろな人の協力もあり、ようやく一つの形になりました。恩返しの意味も込めて飛ばします。コロナ禍ではありますが、思い思いに楽しんでもらえればと思います。

TAP 半農半芸ディレクター いわまさとし 岩間賢さん



平成 17 年の 1 月、子ども向けのたこ教室を開いていたメンバーで、大凧に挑戦しました。一瞬揚がりましたが、それ以来揚げることはありませんでした。このように活用してもらえてうれしいです。当日はいい風が吹くことを祈っています。

元「たこの会」メンバー くらしまきいち 倉島喜一さん



● 令和 4 年 1 月 23 日、空に揚げます

日時 1 月 23 日 (日) 午前中 (風の状況で時間は前後します)

会場 高須公民館付近の農道など

※旧高須小学校校庭 (高須 2151) が駐車場です。駐車場には限りがあります。観覧の際は、周囲の状況に配慮してください。

◎当日ボランティアを募集中。詳細はお問い合わせください。

※文化庁 令和 3 年度文化芸術創造拠点形成事業、自治総合センター 令和 3 年度地域の芸術環境づくり助成事業の助成を受けています。



◆ TAP「半農半芸」の取り組み

「半農半芸」は、TAPのコアプログラムの一つで、平成 22 年に立ち上がりました。活動拠点である「TAKASU HOUSE」【たかさう「藝大食堂」げいだい】などを中心に、自然の要素を活動の軸とする芸術家や専門家、地域の人と協働し、「つくること」や「生きること」を一緒に考える表現活動を展開しています。